

Message

第 29 号

2019. 12. 25

＝メッセージ＝

島根県立島根中央高等学校
島根中央高等学校PTA広報委員会

「なりたい大人になるために」

PTA副会長 坂根尚美



冬の寒さに体を縮こめていると、あんなに暑かった夏の日々がまるで夢のように感じられます。

今学期は、島根中央高校PTAの二大行事である学園祭バザーと球技大会での餅つきを行いました。生徒の皆さんの熱気と華やいだ雰囲気の中で、保護者同士の交流の場にもなり、今年も楽しく活動できたのではないかと思います。保護者の皆様、先生方にはたいへんお世話になりました。さて先日、保護者・教職員・企業・行政の4つの立場が一緒になって石見地域を盛り上げようという「4者フォーラム2019」に参加させて頂きました。事前に頂いたチラシには「知っているようで知らない4者が、語り合えば何かがわかる、わかり合えば何か生まれる」と書かれています。本校におけるキャリア教育の課題」という難しいテーマでのグループワークも、そもそもキャリア教育とはなんぞや？という素朴な疑問を受け止めて頂いたり、少し本題から

逸れつつも、今の高校生に何が必要か、何をすべきか、どんな大人になってほしいか、というようなことをそれぞれの立場で率直に話し合ったりすることができ、楽しい時間でした。母として息子にこんな大人になってほしいという希望、企業が求める人物像、学校が育みたい力、行政が掲げる目標。それぞれに違いはありますが、一緒になって語り合うことの大切さに気づきました。…では、子ども達は？どんな大人になりたいと思っていて、どうやってそれを見つけていくのでしょうか。

島根中央高校では、地域や企業の皆様とのつながりを感じる機会が他より多いのではないかと思います。そこにはどのような意味を見いだすかは人によって違うでしょうが、そうした関わりの中で生徒の皆さんが今後のキャリア形成のロールモデルになる大人と出会えたらいいなと思います。もしかしたら、自分の理想はここにはない！と気づくこともまた大切なことかもしれません。私は渡辺和子さんの著書にある『置かれた場所で咲きなさい』という言葉が好きなのですが、なりたい大人になるた

めに、置かれた場所で咲こうとする花もあれば、どこに根を下ろそうかと迷う種もあるでしょう。そうやって一生懸命頑張っている子ども達を、私達もPT

島根中央高校の魅力

教頭 織部道雄



本校に赴任して2年目になりましたが、生徒たちは気持ちよく挨拶

ができ、好感が持てるイメージは変わりません。15歳で親元を離れ寮生活をしている生徒も多いですが、大変さ乗り越えて成長する姿が見られます。特に就職や進学に向けて真摯に取り組む3年生の姿に成長を感じます。面接指導の際に生徒が語る体験に基づく思いや考えに充実した高校生活を送ってきたことがうかがえます。教員の支援だけでなく、保護者や多くの地域の人々とのかわりが支えになっているようです。生徒によっては幼い頃から育まれてきたものがこの時期になって現れてきているようにも思います。

子どもは大人の姿を見て育ちます。高校生にとって将来自分の生きる姿をイメージする時に

A活動を通じて精一杯応援していただけたらと思います。どうぞこれからもご協力をよろしくお願致します。

身近な大人がそのモデルになります。多くは親、家族ですが、本校は少し異なる点があります。教員や保護者以外にかかわる大人が多いのが特徴です。地域の方々、役場の方々、職場体験等でお世話になる方々、寮生の場合には、舎監さんや炊事員さん、まじ親さんなど、周囲の大人たちとのかかわりが生徒に影響を与えています。

高校時代は多感な時期であり、学習や部活動、進路の悩み、人間関係に苦しむこともあります。近くにいっても親は見守ることしかできないことも多いものです。親がアドバイスしても素直に聞けない年頃でもあります。同じようなことが繰り返される毎日には慌ただしく過ぎ、あつという間に子どもは大きくなったようにも思いますが、実際は様々な体験をして成長していきます。本校を卒業した県外生が高校時代の思い出としてよく地域の

方々との交流をあげます。様々な点でお世話になったことへの思いが心に残るようです。本校では多くの大人との出会いがあり、その生きる姿に影響を受けて育ちます。高校卒業後県外に行くことになっても地元の方々との温かい思い出が心の支えになります。大袈裟かも知れませんが、人としての在り方や生き方のベースになるものが培われているように感じています。これが本校の魅力です。これからも地域の方々とともに生徒たちを見守っていきたいと思います。

PTA活動報告

全国高P連大会に参加して

PTA副会長

湯 浅 晃 誠

8月22日・23日に京都で開催された全国高等学校PTA連合会大会に参加させて頂きました。「kyoから！未来を拓く」をメインテーマに開催されました。

今大会のメインは何といつても2日目にあった超カリスマ経営者、日本電産(株)の会長兼最高経営責任者の永守重信

氏の記念講演でした。私はこれを聞きたいためにわざわざ京都まで足を運びました。

この永守氏は、私財を投げ打って理事長として京都先端科学大学の運営に関わっておられ、今回の演題は「学校教育・家庭教育に思うこと」でした。

永守氏は日本の大学教育について「偏差値、ブランド主義がひずみになっており、打破したい」、また「英語がしゃべれず、専門科目もできず、礼儀作法を知らない人をどんどん出している」と痛烈に批判。自身が一世代で日本電産を巨大企業に成長させたエピソードを交えながら、京都先端科学大学を名門大学にしようと、その情熱は止まること知りません。

歯に衣を着せない直球発言とハツタリの連続で会場の聴講者は翻弄され、居眠りをする暇もなく終わりました。とてもエネルギーッシュで、永守氏の人生モットーである「情熱、熱意、執念」そのものといった講演でした。私的に付け加えるならば、「ハツタリ、から元氣、根拠無き自信」。今の時代、社会に出たら意外とこんな気の持ち方も必要かもしれません。今回、私は京都に住んでいる小学校から高校まで同じ学校



だった同級生に連絡を取り、久々に懐かしく食事もでき、いろいろと思い出の残る大会でした。

2020年にはこの全国大会が島根県で開催されますが、PTAの皆様のご協力をお願いします。

**『石見を盛り上げよう！
保護者と教職員と
企業と行政と・・・
4者フォーラムに参加して』**

1年生 保護者

竹 下 寛 敏

11月21日に大田市で開催された「石見を盛り上げよう！4者フォーラム 保護者と教職員と企業と行政と」に参加させて頂きました。

第一部では、石見地区の企

業を代表して美郷町の山興緑化有限会社様が事業内容から環境への取組、福利厚生等について発表されました。そこで気付いたのは、意外と地元企業を知らないという事です。地域には当社の様な素晴らしい企業が沢山あると思います。子どもたちが将来地元で就職したい時に探すのではなく、もっと早い段階から地元企業について知っておく事が重要であると感じました。

第二部では、高校のキャリア教育の現状について、課題とそれに対するアクションプランをグループに分かれて話し合いました。

この様なテーマで話をする機会は少ないですが、其々の立場から様々な意見を聞くことが出来ました。先生方の苦労や取組の大変さに改めて感謝する次第です。高校の3年間は社会生活への準備を行う上で、極めて重要な時期であると言われています。進学を希望する生徒にとっては学習意欲との両立の問題もありますが、「学ぶこと」と「働くこと」は大人になっても必要不可欠なテーマであり、「自分が将来どう生きていくか」を意識させていく事が大切であると感じ

また。子どもが社会人として自立するために必要な能力を身に付けていく為にも、我が家で普段の日常会話の中から少しずつでも将来の職業について意識をさせていきたいと思えます。

今回の4者フォーラムを通じて話合われた内容が少しでもより良いキャリア教育の実現と島根中央高校の魅力化に繋がればと思います。我々保護者も先生方と今後も連携しながら子どもたちの成長を見守って行きたいと思えます。



「学園祭バザーに参加して」

2年生 保護者
上田 梨紗

昨年に引き続き、学園祭のPTAバザーに参加させていただきました。私は当日のみの参加でしたが、バザー前日には地元にお住まいの保護者の方を中心に、材料の下準備等を進めてくださいました。

当日は、お父さん方の参加も多く、テントの設営等の力仕事を手際良くこなされ、引き続き焼きそばの調理をされます。その他の食品についても、前日の

準備のおかげで段取り良く調理が進められました。

昨年度の反省点だった役割分担について、初めて参加される方にも分かりやすいよう配慮されており、取り組みやすかったと思います。

県外から学園祭に訪れる保護者の中には、前日の準備からPTAバザーへ参加される方もおられます。私のように子連れで参加する者も、皆さん快く

迎え入れてくださり、毎回参加する度に、普段関わり合うことのない保護者同士、先生方を交えての作業は会話も弾み、大変魅力的だと感じています。まだ参加されたことのない保護者の皆さんも、この機会に保護者同士の関わりを深めてみませんか。とても有意義な時間が過ごせると思います。

「もちつき」

3年生 保護者
伊藤 千恵

上の娘が島根中央高校に入学して以来、はや十年、私にとって人生最後（となるはず）の「球技大会+餅つき」のお手伝いでした。…とは言っても、これまでは何だかんだで参加出来ませんでした。今回は「最初で最後の餅つき」と、張り切って参加しました。

餅つきのプロである岡田さんのご指導の下、先輩お父さんお母さんのご指示をいただきながら、あつという間の1日でした。高校の行事に合わせて、保護者や地域の方がつきたての餅をふるまうというのは、島根中央高校ならではの行事だなあと、学校にも感謝しながら、楽しい1日を過ごさせていただきました。

あんこやヨモギ、あべかわなど色々な味があるからでしょうが、子どもたちはたくさん食べていたと思います。お餅が苦手な人は居なかったのでしょうか。ちよつと心配。

私にとつては、何よりお母さん方とおしゃべりが最高のひとときでした。これが活力になるのです。このために参加しているようなところもあります。あ：もちろん少しは球技大

【収入】

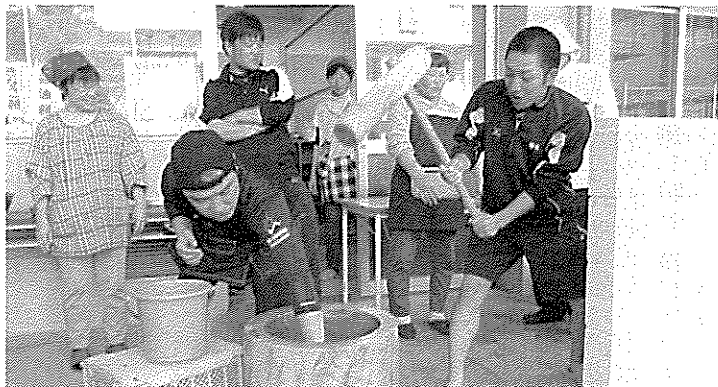
学園祭バザー売上金額			
科目	内容	金額	摘要
売上	お茶・ジュース類	16,000	@100円*160本
売上	冷やしうどん	24,000	@200円*120食
売上	フランクフルト	20,000	@100円*200本
売上	焼きそば	60,000	@300円*200食
売上	おにぎり	12,000	@100円*120食
学園祭バザー収入合計		132,000	

【支出】

学園祭バザーに関する支出明細			
学園祭バザー			
領収書番号	内容	金額	
①	フードバック (焼きそば・フランクフルト・おにぎり)	8,348	
②	発泡どんぶり (冷やしうどん)	2,850	
③	お好み焼き・焼きそば・豚肉他	36,048	
④	流水麺(うどん)	12,182	
⑤	お茶・ジュース類	12,552	
⑥	野菜・おにぎり (まぜご飯の素)	16,962	
⑦	お買い物袋・割りばし 他	4,282	
⑧	食券用色紙	432	
⑨	フロンガス	2,268	
⑩	焼きそば鉄板レンタル謝礼	1,500	
⑪	ジュース冷却用氷	800	
⑫	米 (コシヒカリ12kg)	3,000	
学園祭バザー支出小計		101,224	

学園祭バザー 収益金		30,776	
前年度繰越金	169,985		
バザー収益金	30,776		
バザー用品購入			
島根中央高校生徒会へ預金利息	-20,000		
繰越金	180,761		通帳残金

島根中央高校PTA学園祭バザー 会計報告



会も味わいました。もう行事参加出来なくなるのは本当にさみしいです。日々忙しくしている中で、こういう機会が貴重な時間となります。本当にお世話になりました。

地元の夏祭りパトロールに参加して

P T A 評議員生活指導委員長

町 田 芳 香

息子を入学させていただき、あつという間の3年間。卒業までもう少しという時期になりました。P T A の評議員という貴重な経験を3年間させていただき、生活指導委員を勉強させていただきました。毎年夏に川本町と美郷町にて夏祭りが開催されますが、この夏祭りに島根中央高校より先生方、評議員、役員の方と巡回をさせていただきました。初めてのパトロールは少し照れ臭くて先生方や役員の方の後を一生懸命ついて歩きましたが、今年は堂々と先生方と役員、協力してくださった保護者さんと島根中央高校パトロールの旗と共に巡回しました。美郷町の夏祭りのパトロールは、うす暗い中からのスタートで周りも暗く生徒を見つめるのも困難な中、生徒たちの方から寄ってきてくれて挨拶をしてくれた時の喜びは今でも忘れられません。祭りというのは大人でさえ心が躍り楽しいもの。子どもたちにとって普段から勉強に部活動、青春

に一生懸命な時間の唯一の休憩として楽しんでいる生徒たちを見ていて、とても嬉しく感じました。この夏祭りのパトロールは島根中央高校をアピールし、また子どもたちにも安心を与えてあげる大切な活動であると実感させられました。これからも、この活動に多くの方のご協力と声を掛け合い地域とも繋がって欲しいと願っています。

先生方、役員の方、保護者の方、地域の方、そして生徒一人一人が交われることで子どもたちの成長を願いたいと思います。



地区P T A

関西地区P T A に

参加して

3年生保護者

吉本 浩治

毎年参加させていただいて、子ども達のビデオレターに泣いたり笑ったりと参加されている親御さんみんな和やかな雰囲気での会が開催されております。

遠方だからその不安や不慣れさも、先生、役場の皆様がいっぱい親身に聞いて下さり、持ち帰ってすぐに話し合い、策を講じてくださり、感謝しております。

一例ですが、去年は受験を控えておられる3年生の保護者の方から寮でインフルエンザが流行らないように予防接種をみんなで受けられないかとの話が出ました。先生主導のもとすぐに実行してくださいました。何か不安に思われている方は一度参加してみてください。いつもは聞きにくい事でも聞きやすい会です。交流会後も食事があり、わが子の部活動以外のお話や学年の違う方々と、色々教え

て頂き大変有意義なお時間を過ごさせて頂きました。地区P T A の前には、入学を考えている中学生に向けた説明会が開かれています。去年も在校生の親として参加したので、その時お話しさせていただいた方が入学されて、今回の地区P T A で再会しました。とても嬉しい出来事でした。

子どもを通じてたくさんのお会いに感謝しております。島根中央高校関西地区P T A がこれからはますます素敵な会になりますように。

関東地区P T A に

参加して

2年生保護者

小山真希子

9月7日、都内にて関東地区P T A が開催されました。年に一度行われるこの保護者会は、あまり学校行事に参加する事が出来ない私にとって、とても楽しみな行事の一つです。

なぜなら地元の高校とは違い、知り合いのいない高校に進学するという事は、子ども達は勿論、保護者も不安や悩み、情報を共有できる事が少なく、常に心細い環境でもあります。し

かし、関東地区P T A はそれらを払拭する絶好の機会でもあるからです。

今回の焦点にもなっていた『民間英語外部試験(後に延期決定)』についても、まだ詳細が明確でない中、島根中央高校の取り組みなどを質疑応答できる貴重な場となりました。

また子ども達からのメッセージは、入学当初からは見違える程たくましくなっている子、照れながら一生懸命感謝の気持ちを伝えてくれる子など、今まで当たり前のように側にいた子ども達が画面の向こう側から語りかけてくる。涙なしでは見られない超感動作、一見の価値有り！です。

今回も、とても沢山の先生方や地域の方々がお忙しい中遠方からお越し頂き、誠にありがとうございました。お陰様でも有意義な時間を過ごす事ができました。

美郷地区P T A に参加して

3年生保護者

飯塚 智

美郷地区P T A は11月8日ゴールデンユートピアでおおちで開催されました。先生方、保護者の皆さんの自己紹介と

一言の後、学校側から進路、学習、新しくなる入試制度のことを説明いただきました。

全体の話の中で保護者さんから美郷からの通学バスの時間が変更になりそうだという話がありました。三江線が廃止になり代替交通としてのバスは私の子どもが通うのには便利になり、その上途中からはフリー乗降ができるようになったことで、その利便性の恩恵をフルに受けていると感じていたのです。ですが同じ美郷町内で自宅から通いにくい、接続次第で自宅通学できるかもという声を聞きました。この話題も地区ごとの会合だから聞いたことかもしれません。全体のPTA総会などでは出ないことだと思えます。参加される保護者さんが少ないという気がしますが、地区ごとに開催されるPTAのメリットはそこにあるのかも知れません。地区ごとにそれぞれ意見や要望は違いがあると思えます。学校側にも思ってもみなかったことがあるかもしれません。すぐにできないことでも顕在化できる良い機会が地区PTAのような気がします。ちなみに私は、もつと美郷地区の住民と生徒たちが触れ合える場があれば

いいなという意見を言いました。そうすればもつと島根中央高校に通いたい子や通わせたい親も出てくると思うのです。先生方ももつとくばらんに話せる機会が地区PTAだと思います。保護者の皆さん、もつと参加してみませんか？



全国大会に参加して

吹奏楽部

3年1組 上坂 優菜

私は、島根中央高校の吹奏楽部に入りたくてこの学校に入りました。撞れていた先輩方に近づけるように3年間努力し、高校最後の本番を全国大会という最高の舞台で終えることができ、本当に良かったと思っています。

今年の夏のコンクールでは、自分たちの練習した成果が発揮できず、悔しい思いをしました。そのこともあって、全国大会の録音審査が通ったときはとても嬉しかったです。仮引退してから一ヶ月以上楽器に触れていなかったため、練習が始まってからは、感覚を取り戻すのに苦労しました。また、3年生のほとんどがまだ進路が決まっておらず、勉強時間が減ることへの焦りもありました。しかし、先生方や後輩のサポートもあり、演奏のレベルをコンクール以上に上げることができ、自信を持つて本番を迎えることができました。当日の演奏は、小さなミスはあったものの、全体としては自分たちが努

力した分、良い演奏ができたと思います。全国のレベルはとて高く、目標の賞には届きませんでした。夏のコンクールとは全く違う達成感や感動がありました。辛いことも辞めたいと思ったこともあったけど、本当にここまで続けてきて良かった、そう思える演奏でした。

部活動を引退した今は、学習ルームの外から聞こえてくる後輩の練習の音を励みにして勉強を頑張っています。これからは、吹奏楽を通して学んだことを自分の糧にして努力していきたいです。

これからも、吹奏楽部の応援をよろしく願います。

吹奏楽部保護者

上坂 学

3年生として、そして部長として挑んだ夏のコンクール。金賞だけを目指して頑張ってきましたが、結果は残念ながら銀賞でした。泣きじゃくる子どもたちの姿を見るのは、親としても非常に胸が苦しい思いでした。その後も管楽合奏コンテストに向けた練習は続いていきました。結果を引きずっている子ども

の前では、あえて吹奏楽の話題にふれないようにしていました。

そんなある日「管楽合奏コンテスト出場決定!!」の報告がありました。練習と受験勉強との両立は難しかったとは思いますが、もう一度演奏ができる充実感が子どもからも伝わっていました。東京出発前日の悠長ふるさと会館での最終の合奏の時、子どもたちの目からは涙があふれていたと聞きました。これは前回のような悔し涙ではなく、「素晴らしい仲間達や先生と演奏できるのもこれが本当に最後」という寂しさと「もう一度みんなで舞台上に立てる」という喜びから溢れた涙だったのでしよう。中学校から6年間頑張りが続けた吹奏楽生活の最後がああ夏のコンクールだったとしたら…。「仲間と共に頑張る、一緒に同じステージに立って、みんなに感動を与えられるような演奏をする。」コンクールの結果よりももつと大切なものがあるということに気づくことはなかったと思います。そういう意味でも今回の管楽出場は子どもへの人生にとって本当に大きな経験であったと思います。

私は残念ながら東京に応援

に行くことはできませんでしたが、会場の皆さんに感動を与える素晴らしい演奏をしてくれたと聞いて安心しました。帰ってきた子どもからは充実感が満ちあふれ、大学受験に向けた気持ちの切り替えもしっかりとできてきた様子で安心しました。

最後になりますが、全国大会出場に向けては、学校、PTA、地域の皆様方に多大なご支援をいただいたことに保護者を代表して感謝申し上げます。今後も島根中央高校吹奏楽部のご支援をよろしく願います。



カヌー部

意志あらば、道開く!!

3年3組 中野 湧太

私は、高校入学当時、インターハイ準優勝・茨城国体5位入賞という成果を残せるとは夢にも思っていませんでした。カヌーをなんとなく始め、結果を出すことの大変さや辛さも何も知らない未熟な選手でした。でも、長いようで短かった島根中央高校での生活、先生方や、両親、先輩方、後輩達、そして地域の方々のおかげで、ここまで頑張ることができました。努力を忘れず、人に感謝する心を持ち続けられ、必ず大きな道が開けるという事をここでの生活で学びました。

私が1年生の頃、2・3年生の先輩方と、毎日寮で自分で握った白むすびを片手に練習に励みました。先輩方は、練習で上手いかない時も、先生から厳しく指導されて大変な時も、目標達成のために必死に頑張っておられました。そして、それは決して自分のためだけに、ではなく、私たち後輩のため、島根中央高校の名を全国に発

信するために頑張っているのだということに気付きました。この時から私も、先輩のように、日々努力をすることを心に決め、朝の自主練習は1日も休まず続けました。

先生には、競技はもちろんですが、人間性という面でもたくさん指導していただきました。先生に言われたら、気付くし、反省もできるのですが、なぜ自分で最初から気付けなかったんだらうか?と後になつて後悔することもたくさんありました。人として成長することが、競技力の向上に繋がるんだということを感じ知らされました。

先生や仲間と「日本一」という目標に向かって朝から晩まで、暑い日も寒い日も、明るく元気に頑張れたことが一番の思い出です。皆が大事な仲間であり、ライバルであったから、ここまで頑張ることができました。皆で勝つことの喜びを味わえて良かったです。

また、県外生である、私をサポートしてくださった地域の皆さんのおかげで3年間元気に頑張ることができました。本当に感謝しています。

私達3年生は、カヌー部が新体制になって1年目の選手で

す。つらい日々もたくさんありましたが、先輩方のためにも今年はインターハイ・国体で結果を残す事ができて本当に良かったです。勝ったときの喜びは、何事にも変えられないものでした。感謝の言葉しかありません。島根中央高校カヌー部で過ごした時間は私にとつてかけがえない宝物になりました。これからは、学んだことを忘れずに生きていきたいと思っています。有難うございました。

カヌー部保護者

中野 裕子

緑もゆかりもなかった島根県に、不思議な縁で導かれ、息子が入学したのが2年前。「ここでしかない経験をしてくれたら。」と願ってはいませんが、入学式が終え、「クラブ行つて来る!」と颯爽と走り去る息子の後姿を見送った時には、その後の成長を知る由もありませんでした。

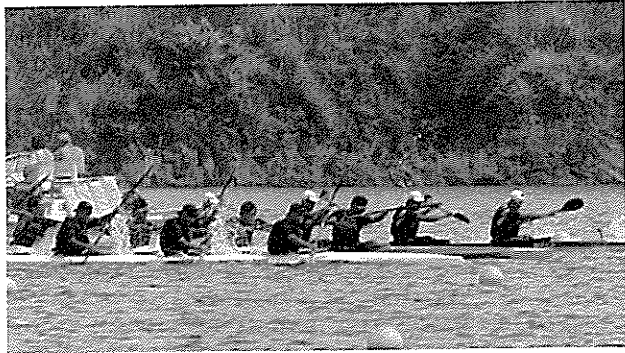
初めて暮らす土地で、初めて挑んだカヌー競技。そこで彼が経験した苦労や努力がいかほどのものであったか、恥ずかしながら離れて暮らす私達親には計り知ることも出来ないと感じています。そんな息子をこ

指導くださった堀田育子先生。彼の入学と同時に赴任されて来られました。素人の私にも伝わる、並々ならぬカヌー熱(愛?)をお持ちの、素晴らしい指導者に恵まれたことが、何より大きなギフトであったと感じています。

そんな先生方とチームメイトに恵まれ、2年生でキャプテンという大役を頂き、3年生のラストシーズンには、インターハイと国体でフォアのメンバーで出場させて頂きました。ラストシーズン、5月の選考会には美郷町まで応援に足を運びました。選手一人一人が、それまで積み重ねてきた力を発揮する為に集中してレースに挑む緊張感、今思い出しても胸が熱くなります。

選手達が、「絶対に堀田先生の首にメダルをかける!」と挑んだ8月のインターハイ。レース前日の仕上がりは上々で、決勝の前日には興奮して眠れませんでした。そして宣言通り、フォアでは僅差で2位入賞。レース後の彼らの笑顔はほんとうに眩しかったです。

10月の国体でも悪天候の中、皆素晴らしい結果を残してくれました。強風の為レ



又中止となった初日。澄み渡る青空が広がった2日目。水面が波立つほどの横風が吹いた3日目。小雨が降り続いた後、晴れやかな青空が顔を出した最終日。彼が力ヌーと過ごした時間も、こんなふうだったんだろーうと思います。新聞のインタビューで、「悔いはない。」と締めくくった息子。私も保護者として、沢山の経験をさせてもらい、素晴らしいご縁を頂いた幸せな2年半でした。

お世話になった先生方、保護者の皆様に心より感謝申し上げます、島根中央高校力ヌー部の今後益々のご活躍をお祈りしております。

大会結果等報告

男子硬式野球部

〔全国高等学校野球選手権島根大会〕(7月)

1回戦

島根中央8―6出雲西

2回戦

島根中央3―4安来

〔令和元年度 島根県高等学校秋季野球大会〕(9月)

1回戦

島根中央5―8安来

女子硬式野球部

〔第23回全国高等学校女子硬式野球選手権大会〕(7月)

1回戦

島根中央1―8村田女子
(東京都)

力ヌー部

〔令和元年度全国高等学校総合体育大会力ヌースプリント競技〕(8月)

男子カヤックシングル

500m

第7位 小鍵亮太

男子カヤックフォア

500m

第2位 中野・平田

小鍵・齋藤

〔令和元年度島根県高等学校新人大会〕(9月)

男子カヤックシングル

500m

第1位 小鍵亮太

第2位 行田朋晃

第3位 齋藤哲一

男子カヤックシングル

200m

第1位 小鍵亮太

第2位 齋藤哲一

第3位 廣中大飛

男子カナディアンシングル

500m

第2位 加藤大雅

男子カナディアンシングル

200m

第1位 加藤大雅

女子カヤックシングル

500m

第2位 高橋優花

第3位 橋本茉音

女子カヤックシングル

200m

第3位 高橋優花

〔第74回国民体育大会(茨城国体)カヌースプリント競技〕(10月)

少年男子カヤックシングル

500m

5位 小鍵亮太

少年男子カヤックシングル

200m

5位 小鍵亮太

少年男子カヤックペア

500m

3位 齋藤哲一・行田朋晃

少年男子カヤックペア

200m

2位 齋藤哲一・行田朋晃

少年男子カヤックフォア

500m

6位 平田・中野

中嶋・廣中

少年男子カヤックフォア

200m

5位 平田・中野

中嶋・廣中

〔第7回中国高等学校新人カヌースプリント選手権大会〕(10月)

男子カヤックシングル

500m

第1位 小鍵亮太

第2位 行田朋晃

男子カナディアンシングル

500m

第3位 加藤大雅

女子カヤックシングル

500m

第3位 高橋優花

男子カヤックペア500m

第1位 小鍵・行田

第2位 齋藤・廣中

第3位 松本・佐藤

男子カナディアンペア

500m

第3位 加藤大雅・塚崎幹哉

女子カヤックペア500m

第2位 高橋・加藤

第3位 橋本・松岡



陸上競技部

〔島根県高等学校新人陸上競技大会〕(9月)

男子5000m競歩

1位 安部暖人

3位 湯浅敬翔

女子走幅跳

2位 野口月華

女子三段跳

1位 野口月華

女子ハンマー投

3位 福岡知優

〔中国高等学校新人陸上競技大会〕(10月)

男子5000m競歩

1位 安部暖人

女子走幅跳
8位 野口月華
女子三段跳
5位 野口月華



剣道部

〔島根県高等学校剣道選手権大会〕(10月)

女子団体戦
島根中央×○松江北
女子個人戦
2回戦
酒井○×益田東
井上×○矢上
木村×○松江農林
3回戦
酒井×○松江農林
男子個人戦
渡邊×○大社
坂根×○大田

バレー部

〔第10回石見地区高等学校バレーボール選手権大会〕(10月)
予選リーグ

島根中央2―0吉賀
島根中央2―0益田翔陽
島根中央2―0益田東
順位決定戦
島根中央0―2江津
島根中央0―2吉賀
ベスト6

〔島根県高等学校バレーボール選手権大会〕(11月)

島根中央1―2浜田
〔島根県高等学校新人バレーボール大会〕(12月)
島根中央2―0浜田商業
島根中央1―2松江東

ソフトテニス部

〔島根県高等学校ソフトテニス選手権大会〕(9月)

男子個人戦
1回戦
川角・坂根1―4隠岐島前
1回戦敗退
碓谷・土江1―4松江工業
1回戦敗退
女子個人戦
1回戦
佐々木・本山2―4松江東
1回戦敗退

増田・大浜1―4松江北
1回戦敗退

〔島根県高等学校ソフトテニス新人戦〕(10月)
男子個人戦
1回戦

川角・坂根2―4大田
1回戦敗退
碓谷・土江1―4大社
1回戦敗退

女子個人戦

1回戦
佐々木・本山2―4江津
1回戦敗退

男子団体戦

1回戦
島根中央0―3三刀屋
1回戦敗退

バスケットボール部

〔島根県高等学校バスケットボール選手権大会〕(11月)

男子
1回戦
島根中央79―68大社
2回戦
島根中央63―104出雲北陵

女子

1回戦

島根中央15―11松江農林
〔石見地区高等学校新人バスケットボール選手権大会〕(12月)

男子

島根中央50―60益田翔陽

吹奏楽部

〔全日本吹奏楽コンクール島根県大会〕(8月)

高等学校Aの部 銀賞
〔日本管楽合奏コンテスト全国大会〕(11月)
高等学校Aの部 優秀賞

自然科学部

〔令和元年度島根県高文連自然科学部門研究発表会〕(11月)

展示発表の部
優秀賞「和音の研究」



編集後記

また寒い冬がやってきました。川本の冬と自分の故郷との差を感じながら過ごしている生徒さんも多いのではないのでしょうか。

二期期は行事の多い学期です。のでMessageも盛りだくさんになっています。

私もPTA行事を通じて生徒達に接する機会があったのですが、みんな素朴で若いのですが、いいなと思わされる事が多く、いつも楽しく参加させてもらっています。皆さんも機会があったら是非参加してみてください。

今回もお忙しい中、寄稿していただきました皆様ありがとうございました。皆様のおかげで無事に発刊できましたこと感謝いたします。

これからの季節、風邪などをひかないように体調管理に気をつけましょう。